2026年10月29日

各　位

会　社　名　　ＳＢＩインシュアランスグループ株式会社
代 表 者 名　　代表取締役執行役員会長兼社長　乙部　辰良
（コード番号：7326　東証グロース市場）
問合わせ先　　取締役執行役員　大和田　徹
TEL. 03-6229-0881

2027年３月期中間連結会計期間の決算速報のお知らせ

当社及び当社グループの決算手続は未だ完了しておりませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、当社グループの2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）の決算速報（日本基準）を以下のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2027年３月期中間連結会計期間の決算発表は2026年11月11日を予定しております。

記

2027年３月期中間連結会計期間　決算速報（日本基準）

当中間連結会計期間における当社グループの経営成績の見通しは次のとおりであります。なお、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益、１株当たり中間純利益のいずれも中間連結会計期間としての過去最高を更新する見込みです。

	（実績） 前中間連結会計期間 （2025年４月１日～ 2025年９月30日）	（速報） 当中間連結会計期間 （2026年４月１日～ 2026年９月30日）	対前年同期 増減率 （％）
経常収益	69,211百万円	78,631百万円	13.6
経常利益	7,307百万円	9,209百万円	26.0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,254百万円	2,587百万円	14.8
１株当たり中間純利益	90円82銭	104円26銭	

経常収益は、すべての事業において保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期比で9,420百万円増加し、78,631百万円（前年同期比13.6％増加）となる見込みです。

この増収効果により、経常利益は前年同期比で1,902百万円増加し、9,209百万円（同26.0％増加）となる見通しです。

また、親会社株主に帰属する中間純利益は、税金費用の増加があったものの、着実な増収効果がその影響を吸収し、前年同期比で333百万円増加の2,587百万円（同14.8％増加）となる見込みです。

セグメントごとの経営成績の見通しは次のとおりであります。

（単位：百万円）

	経常収益			セグメント利益（親会社株主に帰属する中間純利益）		
	中間連結会計期間		増減率（%）	中間連結会計期間		増減率（%）
	2026年３月期	2027年３月期		2026年３月期	2027年３月期	
損害保険事業	22,609	27,484	21.6	1,590	1,748	9.9
生命保険事業	28,903	32,465	12.3	469	904	92.5
少額短期保険事業	17,785	18,774	5.6	569	425	△25.2
報告セグメント計	69,298	78,725	13.6	2,629	3,078	17.1
セグメント間消去又は調整	△87	△93	－	△375	△491	－
中間連結損益計算書計上額	69,211	78,631	13.6	2,254	2,587	14.8

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

（損害保険事業）

2026年９月末の保有契約件数（団体がん保険の被保険者数を含む）は1,463千件（前年度末比4.7%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比21.6%増加の27,484百万円となる見込みです。セグメント利益は、契約件数増加に伴う保険金の増加に加え、税務上の繰越欠損金の解消による税金費用の増加がありましたが、着実な増収がその影響を吸収し、前年同期比9.9%増加の1,748百万円となる見通しです。

（生命保険事業）

2026年９月末の保有契約件数（団体信用生命保険の被保険者数を含む）は774千件（前年度末比6.8%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の順調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比12.3%増加の32,465百万円となる見通しです。セグメント利益は、この増収効果に加えて資産運用が好調に推移したことにより、前年同期比92.5%増加の904百万円となる見込みです。

（少額短期保険事業）

2026年９月末の保有契約件数は1,070千件（前年度末比1.5%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比5.6%増加の18,774百万円となる見込みです。セグメント利益は、主に保険金支払いの増加を要因として、前年同期比25.2%減少の425百万円となる見通しです。今後は、契約件数の着実な積み上げに加え、保険料適正化施策等による増収効果が順次顕在化することから、通期では利益水準は改善するものと見込んでおります。

上記の2027年３月期中間連結会計期間の決算速報に記載されている情報は、本資料発表日現在において入手可能な情報を元に作成した速報値であり、確定値ではありません。2026年11月11日に発表を予定しております2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）の決算数値は、様々な要因により、本速報値と異なる可能性があります。

以　上